

島九条の会通信

第57回例会 ミャンマー支援緊急集会の報告

ミャンマー留学生からの訴え

ミャンマーに民主主義を 軍事政権に圧力を！

島中学校区九条の会は、7月11日島公民館にて緊急集会「今 ミャンマーはどうなっているか？」を開きました。遠くは名古屋の方を含めて参加者は40名、会場はいっぱいになりました。

ミャンマー情勢の報告者は岐阜大学大学院への留学生のお二人と同大学院の仲澤和馬教授です。

島九の田中代表の「居ても立っても居られない気持ちでこの集会を開いた」という挨拶の後、留学生のお二人から、ミャンマー現代史と、ミャンマー国内の現状について映像を交えて詳しい報告がありました（以下留学生の報告要旨）。



独立と軍事政権

ミャンマーは1948年「ビルマ連邦」として英国から独立。議会制民主主義国家としてスタートするも、1962年軍事クーデターによってネウウィン将軍独裁の軍事政権が作られた。

民主化と軍によるクーデター

1988年の民主化運動をきっかけに、民政移管や複数政党制などの流れができ、軍事政権下の1990年総選挙・2012年補欠選挙はアウンサンスーチー氏率いる国民民主連盟(NLD)が圧勝。2020年選挙もNLDが83%の得票率で圧勝したが、不正選挙を理由に国会開始直前の2月1日の軍事クーデター。スーチー氏を始め政治家・NLD 党員・知識人ら500人以上が逮捕されたが、今も「証拠」は示されていない。スーチー政権が軍優先の2008年憲法（国会議員の25%を軍が任命し、軍が反対すれば憲法改正ができない）の改正と民主主義政治を目指していたことに、軍は反発しクーデターを起こした。

クーデターに抗する市民 そして日本政府は？

直ちに国内外でクーデター反対のデモや集会などが組織され、名古屋でも東海3県在住のミャンマー人による集会が開かれた。ミャンマー国内のデモに参加できない人は、PM8:00~15 鍋など音の出るものを叩いて、クーデターへの抗議意思を示している。また、公務員や教員・医療従事者その他多くの働く人々が「市民不服従運動(CDM)」に参加して、就業拒否をしている。

それに対して軍は弾圧を強め、大勢の市民を殺傷している。死傷者数は公表されている数字より多い。公表された数字は2/1~7/10に、死者899人逮捕6611人指名手配1963人。

民主派は、2020年選挙で選出された議員で構成された臨時議会(CRPH)を設立、4月16日にはNLDと親NLD系の少数民族政党が中心となり国民統一政府(NUG)が結成された(5/27チェコ共和国承認)。日本の国会議員の一部はNUGと接触があるが、日本政府は無視している。

日本国民への訴え

最後に会場の皆さんにお願いします。日本は民主主義の国です、皆さんは声をあげてください。

活動実態が確認された国内の支援団体

- One to One CDM Campaign
(「日本ビルマ支援センター」が関わる)
- MDSG (Myanmar Development Support Group)
(岐阜大卒業生の在日友人がメンバー)
- We For ALL
(超党派の「ミャンマーの民主化を支援する議員連盟」や、自治労など労組が後押し)
※仲澤教授の資料から作成しました
※各組織の支援方法などは、ネット検索でも可能です

「日本政府は軍に圧力をかけろ。日本企業は、軍とつながっている企業と一緒に仕事をするな」、そして「ミャンマー国民と一緒に軍と戦ってほしい。NUGと一緒にミャンマー国民を支援しよう」と。

次に仲澤教授から、ミャンマー社会の様子や日本ミャンマー関係についての補足と支援先などの説明がありました。

軍と警察の暴力

留学生の報告の中で上映された市民の非暴力抵抗の様子と、それに対する軍と警察による暴力むき出しの弾圧（救急隊員を救急車から引きずり下ろして銃などで何度も殴る蹴る、商店に押し入って商品や売上金を強奪する警察隊など）には、思わず目を覆いたくなりました。

最後に、急遽会場からの提案でミャンマーの軍事政権と日本政府への緊急要請アピールを採択しました。このアピールは、首相・国会に議席を持つ全政党・在日ミャンマー大使館にそれぞれ後日郵送しました。



会場で記入していただいた感想・意見（全文掲載 順不同）

- ・ 自分に何ができるか？それが少しでもイメージできたらという思いを持って参加しました。香港の問題然りです。地域に帰って仲間とともに考えます。いい機会をつくっていただきありがとうございます。（平方）
- ・ 国内の利権争いが核になっているのか、中国の利権の代理争いの為に頑張ろうとしているのか。ミャンマーと協力していきたい「核」は独裁国家から脱れたいということ。（平方）
- ・ 今日のミャンマー留学生は団体をつくっているのですか。その団体の皆さんに、心配ですからカンパや支援が必要だと思います。（近藤 真）
- ・ 今の日本政府はかかわらない。九条の会はミャンマーの正常化のために、それができる政府をつくる、憲法9条を守る活動が必要。決議文に政府自身9条を守れと入れて！
- ・ たくさんの資料とともに、このような学習会を開催していただきありがとうございます。他地区でもどんどん開催していただき、日本での世論を広めてもらいたい。国内でもっと大勢の力でアピールしていただきたいです。
- ・ 軍の暴虐な映像を見て、ミャンマーの民衆のおかれている状況を改めて思い知らされました。クーデターの軍政と軍幹部の犯罪を広く国際社会に伝え、国際的な民主団体・反戦団体と広く連帯し、抵抗に立つ民衆の支援をしたいと思います。
- ・ ミャンマーの軍事政権時代など全く知らず、軍部の利権を独占したいことや、日本の借款がそれを支えている現状も知り、日本の責任も痛感した。このまま国際社会が放置すれば、内戦になるかもしれないという現状も知って危惧を感じた。民主主義を標榜する日本や欧米が無視してはならない。最小限の人権を守るために何かできることがあるならば、しなければならない。
- ・ 4年前ロヒンギャ少数民族が迫害されて多くの人たちが難民になった時、ミャンマーの国民はどう思ってどういう行動をとられたのでしょうか。あの時の軍部の行動・蛮行を世界の人々が許してしまったことが、今につながっている気がしてならない。絶対、紛争はとめなければいけないと思います。シリアも10年経っても終わりがみえません。一度起こった紛争は、生活も社会システムもすべてのものを壊しても終わらない、勝者もいません。
- ・ 現地ミャンマーの情勢がわかって良かった。九条の会の皆様おつかれさまでした。（瑞穂市九条の会 浅井）

最後になってしまいましたが、仲澤氏は日本を代表する物理学者でもあり、大学教育を支援するプログラムで何度もミャンマーを訪問され、現地の事情に強い危機感をお持ちでした。今回の集会も氏のご好意で実現しました。厳しい状況の中報告していただいたお二人の留学生と、仲澤和馬教授に改めて御礼申し上げます。

ミャンマー緊急支援集会アピール

- 1 アウンサンスーチーさんを始め、2月1日以後ミャンマー国軍によって拘束された政治家・市民を全て解放せよ
- 2 ミャンマー国軍は、国民を殺すな
- 3 ミャンマー国軍は、国民の人権を保障せよ
- 4 日本政府は憲法9条を守り、ミャンマー「国軍政府」への財政的支援をやめよ

2021年 7月11日 島中学校区9条の会主催
ミャンマー支援緊急集会参加者一同